

えん + じん

発行：
多賀城市市民活動サポートセンター
(たがさぼ)

第7号 【毎月1日発行】
発行日：平成24年4月1日

えんじんは、被災地で生活している方、復興支援活動をしている方を応援する情報誌です。

えん+じん4月号 目次

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1, 2 ページ…NPO相談窓口 | 震災によって困りごとを抱える方の相談窓口です |
| 3 ページ…新しい生活に向けて 生活再建応援！ | 生活再建に関する相談に応じている団体です |
| 4 ページ…自治会・町内会活動紹介
…えん+じんでつながりをつくる | 大代地区での地域づくりに関する取り組みです
名前の由来や人と人がつながった事例を紹介します |



NPO相談窓口

被災者の困りごとや悩みごとに対応する相談窓口を紹介します。

●東日本大震災 心の相談電話●

東日本大震災により悩みや問題を抱えた被災者の方や支援活動に関わる方の精神的なサポートを行います。

対象：不安や悩みを抱えている被災者及び支援者

団体：東日本大震災心理支援センター

電話：0120-719-789(通話料無料)

時間：午後7時～午後9時(月・火・木・金曜)

H P：<http://www.jpssc.biz/>

●死別・離別の悲しみ相談ダイヤル●

大切な方との「死別・離別による悲しみ」に、少しでも寄り添うことができたなら、遺族支援に取り組む民間ボランティアが開設した電話相談です。事前にご連絡いただければ時間外でも対応いたします。

対象：大切な人を亡くされた方、大切な人が行方不明となっている方

団体：NPO法人ライフリンク

電話：0120-556-338(通話料無料)

時間：午前10時～午後8時(日曜と毎月11日)

H P：<http://www.lifelink.or.jp/hp/shien311/>

●ママパパライン仙台●

子育ての悩みや不安な気持ちを聴く専用電話です。電話を受けるのは専門の研修を受けたボランティアスタッフです。あなたのお話を受け止め、やさしくお聴きします。

対象：子育て中のママとパパ

団体：NPO法人せんだい杜の子ども劇場

電話：022-773-9140

時間：午前10時～午後4時(金曜)

H P：<http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/>

●パープル・ホットライン●

災害、暴力被害、生活のことなどさまざまな悩みごとを相談できる女性専用の電話窓口です。適切な支援者へつなげます。

対象：災害・暴力・人権・生活等に悩む女性

団体：NPO法人全国女性シェルターネット

電話：0120-941-826(通話料無料)

時間：24時間対応

H P：<http://nwsnet.or.jp/purpleline/>

●せんだい若者サポートステーション●

働くための一歩を踏み出したい人たちへの支援をします。一緒に生き方・働き方を探しましょう。(仕事の紹介はしていません)

対象：15歳から概ね40歳未満で、現在仕事をしていない方、またはその保護者の方

団体：NPO法人わたげの会

電話：022-246-9685

時間：午前10時～午後5時(月～金曜)

H P：<http://www.saposute.ne.jp/>

●チャイルドライン●

学校のこと、家族のこと、いじめのこと等悩みや不安を抱える子どもの声を受け止めます。どんな話でも安心して相談してください。

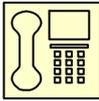
対象：18歳までの子ども

団体：NPO法人チャイルドライン支援センター

電話：0120-99-7777(通話料無料)

時間：午後4時～午後9時(月～土曜)

H P：<http://www.childline.or.jp/>



NPO相談窓口

被災者の困りごとや悩みごとに対応する相談窓口を紹介します。

つづき

●被災者専用人権ホットライン●

被災地から来たということ、いじめや差別を受けた、性的嫌がらせを受けた、避難所などでトラブルに巻き込まれた等、どこに相談してよいのかわからないという方はぜひご連絡ください。

対象：人権に関してお悩みの被災者の方
団体：NPO法人World Open Heart(ワールドオープンハート)
電話：022-398-7129
時間：午前9時～昼12時 午後1時～午後5時(月～金曜)
H P：<http://worldopenheart.com/>

●犯罪や事故被害者の相談電話●

犯罪や事故の被害に遭い、精神的にダメージを受けた本人や家族の方を支援することを目的に、専門の研修を受けた相談員が被害者の相談に応じます。

対象：犯罪・事故の被害を受けた方、その家族の方
団体：公益社団法人みやぎ被害者支援センター
電話：022-301-7830
時間：午前10時～午後4時(火～金曜)
H P：<http://www1a.biglobe.ne.jp/zzm66262/>

●被災地障がい者センターみやぎ●

障がい者自身が運営している団体です。同じ障がい者の視点に立って地域生活をサポートします。お気軽にご相談ください。

対象：障がい者の方
団体：被災地障がい者センターみやぎ
電話：022-746-8012
FAX：022-248-6016
時間：午前10時～午後6時(月～金曜)
H P：<http://blog.canpan.info/tasuketto/>
E-mail：cil.busshi@gmail.com

●聴覚障害相談●

被災した聴覚障害者やその家族、関係者からの相談に応じます。生活再建に関する困りごと、悩みや不安などお気軽に相談ください。

対象：聴覚障害者やその家族、関係者
団体：みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター(みみサポみやぎ)
電話：022-349-9655
FAX：022-349-9655
時間：午前9時30分～午後5時30分(月～土曜)
H P：<http://www.mimisuppo-miyagi.org/>
E-mail：info@mimisuppo-miyagi.org

●認知症の介護に関する相談電話●

認知症の方の介護は、経験をしてみないと、大変さが分らないと思います。介護経験者が応じますので、お気軽にご相談ください。

対象：認知症の方、介護中の家族の方
団体：公益社団法人認知症の人と家族の会 宮城県支部
電話：022-263-5091
時間：午前9時～午後4時(月～金曜 祝日は除く)
H P：<http://www.alzheimer.or.jp/>

●エイズ電話相談●

HIV／エイズに関する相談や疑問に、研修を受けたボランティアスタッフが対応します。

対象：HIV／エイズでお悩みの方
団体：東北HIVコミュニケーションズ
電話：022-276-1960
時間：午後6時～午後9時(土曜 お盆期間は休み)
H P：<http://www16.plala.or.jp/thc/>

●難病相談電話●

看護師などの専門の相談員を配置し、難病に関する様々な相談に応じています。プライバシーには万全を期していますので、お気軽にご相談ください。

対象：難病に関してお困りの方
団体：宮城県難病相談支援センター
電話：022-212-3351
時間：午前10時～午後5時(月～金曜)
毎月第2日曜、第3土曜は午前11時～午後4時
H P：<http://www18.ocn.ne.jp/~miyagi-p/>

●酒害相談●

お酒に関する問題でお悩みの方、もしくはその家族の方を対象に酒害相談を行っています。一緒に考えて解決の道を見つけていきましょう。

対象：お酒の問題で悩んでいる方、その家族の方
団体：NPO法人宮城県断酒会
電話：022-214-1870
時間：午前10時～午後5時(月～金曜)
H P：<http://www15.ocn.ne.jp/~miyadan/>

「たがさぼ」では、東日本大震災によって被災された方に対して、被災者支援活動の情報を提供しています。また、ボランティア活動を始めたい方からの相談や、すでに地域づくりに取り組んでいる団体のみなさんからの相談に応じています。来館はもちろん、お電話でも受け付けております。ぜひ「たがさぼ」までご相談ください。

被災者支援活動紹介

新しい生活に向けて 生活再建応援！

ライフサポートセンターみやぎ
日本FP協会
仙台POSSE

4月は新年度に入り、就職や転職、引っ越しなど、生活環境に変化が訪れる時期です。今回は、被災によって、生活に困りごとを抱えた方に対し、労働やお金、各種制度の相談に応じ、支援を行っている団体を掲載します。

専門家が労働やお金に関する相談に応じます

ライフサポートセンターみやぎ

ライフサポートセンターみやぎでは、労働、金融、生活保障、介護、法律、クレジット・サラ金など、生活に関するさまざまな相談に応じています。相談には、ライフサポートセンターみやぎの持つネットワークを活用し、各々の分野の専門家(弁護士、司法書士)や他団体と協力しながら生活に関する困りごとを解決しています。

被災地では特に、解雇や減収によって収入に不安のある方、仕事の再開が困難な自営業の方が現在も多く生活しています。そのような方が生活再建できるよう、専門的な相談に応じ、支援に取り組んでいる団体や支援制度の紹介といった適切な情報提供を行っています。

ます。

どのように自身の生活を立て直したらよいか分からない方、将来の生活について不安を抱える方は、ぜひご相談ください。相談は、電話・FAX・メールで受付けています。

住 所：仙台市青葉区本町2-12-7 ハーネル仙台7F
時 間：午前10時～午後4時(平日)
電 話：0120-980-629(通話料無料)
FAX：022-343-8846
E-mail：sapout-miyagi@nifty.com
H P：http://www.life-support-miyagi.jp/home.html

生活を変えるお金の使い方

NPO法人日本FP協会

震災後、NPO法人日本FP(ファイナンシャル・プランナー)協会では、主にライフプランの相談を通じて被災者支援を行ってきました。「FP」は、家庭の状況(収支、家族構成、資産状況など)に基づき、金銭面から生活設計のアドバイス等を行います。

相談内容は、住宅に関する相談、行政による支援制度についての問い合わせが多く、生活設計と併せて各種支援制度についての情報提供を行っています。また、ホームページからは、暮らしとお金に関する災害対策をまとめた「生活防衛のための災害対策ブック」、東日本大震災で被災した方へ向けた「生活再建ハンドブック」をダウンロードすることができます。

お金の面から生活再建を行いたい方、支援制度の情報が届かない、またはどのように活用してよいか分からない方はご相談ください。相談は、通話料無料の相談専用電話にて受付けています。

住 所：仙台市宮城野区榴岡4-1-8(宮城支部)
時 間：午前10時～午後4時(月～土曜)
電 話：0120-874-002(通話料無料)
E-mail：miyagi_bb@jafp.or.jp(宮城支部)
H P：http://www.jafp.or.jp/

若者たちの生活・労働相談

仙台POSSE

仙台POSSE(ポッセ)は、東京に本部を置くNPO法人POSSEの仙台支部として20代の若い世代が中心メンバーとなり、震災前から労働問題、貧困問題に取り組んできました。

震災後は主に、東日本大震災に伴う労働市場・労働環境の調査、被災者に対しての生活相談を行っています。内容は、免税措置、支援金・義援金、生活保護などの行政サービス、社会保障制度を利用するためのサポートが中心です。また、東京にあるPOSSE本部と連携し、職場環境や労働に関する相談にも応じています。

新年度となる4月は、就職・進学に伴い、特に若者にとって生活環境に大きな変化が訪れる時期です。生活に関して支援制度の利用の仕方が分からない、職場環境や労働に関して困りごとがあるという方はぜひご利用ください。



POSSEで発行している労働法のテキスト

住 所：仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター気付
電 話：022-266-7630
E-mail：sendai@npoposse.jp
H P：http://www.npoposse.jp/
ブログ：http://blog.goo.ne.jp/sendai-posse

自治会・町内会活動紹介

大代地区コミュニティ推進協議会

～みんなで作る住みよいふるさと～

大代地区コミュニティ推進協議会(以下、コミ協)は、住民同士のコミュニケーションを深め地域のさまざまな課題を自分たちで解決し、明るい住みよいふるさとを築くため、昭和61年に大代5行政区合同で結成された団体です。これまで地域情報を掲載した広報誌「ふれあい」の発行や貞山運河周辺の清掃活動、住民同士の交流を深めるグラウンドゴルフ大会など、大代地区に活気をもたらしていました。

東日本大震災では活動拠点の大代地区公民館が津波被害に遭い、活動できない状態が長く続きました。しかし、今ではこれまで以上に住みよい大代地区をつくるため、メンバー同士が学び合い、組織の力を高める「こみプロ学習会」(以下、学習会)を開催しています。

学習会では、「これからの事業、イベントを考えよう」「良い！予算計画、事業計画の作り方」などメンバーが学びたいテーマを設けています。例えば、「これからの事業、イベントを考えよう」(2月17日実施)では、大代の理想の姿や地域にある資源(人・もの・場所など)を数グループに分かれて話し合い、理想を実現するための事業、イベント案をみんなで考えました。話し合いな



年間計画を立てるワークショップの様子

がらアイデアを出すことで、これまでになかった新しい企画も生まれました。

このようにコミ協は、復興へ向けて学習会を通し組織の基盤強化をすすめ、地域課題を自分たちの力で解決できる住みよいふるさとづくりを目指しています。



えん+じんでつながりをつくる

「えん+じん」の由来や、実際に人と人がつながった事例を紹介します。

えん+じんの3つの意味

市民が復興の「原動力(エンジン)」となる

「円陣(えんじん)」を組み、復興に向かおう

人と人とのつながり「縁(えん)+人(じん)」

「えん+じん」には、「多賀城に住むみんなが手を取り合って復興に向かって進んでいこう！」という想いがこめられています。

多賀城市震災復興応援情報誌「えん+じん」は、多賀城市内の全ての被災者の方へ民間団体の情報を提供することを目的に発行してきました。そのため、避難所や仮設住宅、公共施設だけではなく、全戸配布という形で在宅被災者の方へも「えん+じん」を届けています。

●ありがとうの声●

「えん+じん」1月号に掲載したアースワンから活動の報告をいただきました。

「えん+じん」を見た多賀城市内の被災者の方から、アースワンへ支援物資についての問い合わせがあり、防寒具や暖房器具を提供することができました。掲載前は多賀城市民の方からの問い合わせはほとんどない状態でしたが、掲載後は、10件ほど連絡があり、その内の何件かは現在も情報を得ることができず、困っている方たちでした。そのような方とつながることができて良かったです。ありがとうございました。

「えん+じん」は、支援団体と被災者、団体同士をつなぐ役割を果たしています。これからも、支援の届かない場所へ「えん+じん」を通して支援を届けるお手伝いをしていきます。

◇「えん+じん」バックナンバー◇

インターネットにつながる環境がある方は、たがさぽホームページにてバックナンバーをダウンロードすることができます。

また、ご希望の方はたがさぽ窓口にてバックナンバーをお渡しします。

ホームページ：<http://www.tagasapo.org/>

□発行：多賀城市市民活動サポートセンター

〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3

(多賀城市文化センター北隣、上水道部向かい)

TEL:022-368-7745 FAX:022-309-3706

ホームページ：<http://www.tagasapo.org/>

スタッフブログ：<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

Twitter U R L：<http://twitter.com/tagasapo>

アカウント：@tagasapo

□編集：特定非営利活動法人せんたい・みやぎNPOセンター